

2 平成26年度 学校経営の体系

学 校 教 育 目 標	
◎豊かな人間性と、未来を創造する児童生徒の育成 ―自他を大切にし、自分の良さを発揮する児童生徒―	
め ざ す 子 ど も 像	
◎「知・徳・体」の調和のとれた児童 ○進んで学習しよく考える児童 ○優しい心をもち、協力し合う児童 ○明るく健康でたくましい児童 ○思いを伝え合うことができる児童 ○地域を知り地域を愛する児童	
め ざ す 教 師 像	
① 優しさときびしさを併せもち心のふれあいを大切にする教師 ・責任感が強く子どもと学校、地域を愛する教師 ・危機管理意識を持ち、自他共に律することができる教師 ② 研鑽的な教師 ・研究意欲旺盛で、研究の成果を日々の授業に生かす教師 ・1時間1時間の授業を大切にし、楽しくわかる授業に向け創意工夫をする教師 ③ 誠意を持って事に当たる教師 ・誠実で教職に誇りを持つ教師 ・協調性豊かで、児童や保護者、家庭・地域から親しまれ信頼される教師	
<気づきから責任ある行動へ>	
め ざ す 学 校 像	
○ 学び合いのある学校 … 授業の充実・人の温かさ ○ うるおいのある学校 … 自然や環境 ○ 躍動のある学校 … 変化への対応	

教 育 目 標 の 具 現 化		
児 童 像		要 素
○めあてに向かって解決の方法を考え進んで学びやりとげることのできる子ども	・めあてをもって学習の見通しを持ち思考を深め解決する子 ・筋道を立てて自分の考えを発表し豊かな表現ができる子 ・学習の仕方が分かり、一人学びができる子	・思考力 ・判断力 ・表現力 ・探求心 ・創意工夫
○前向きに物事を捉え、その場にあった言葉遣いや行動ができる子ども	・思いやりと感謝の気持ちを持ち皆と仲良く助け合う子 ・動植物をかわいがり、世話をすることができる子 ・明るく元気よく挨拶できる子 ・働くことを喜び進んで汗を流すことができる子	・思いやり ・協力 ・国際理解・平和 ・感謝の心 ・自然愛 ・挨拶・礼儀 ・勤労 ・人権
○心も体もたくましく、自らの力で鍛えることのできる子ども	・規則正しい生活ができる子 ・積極的に課題に取り組み責任を果たす子 ・困難に屈せず、ねばり強く最後までやりぬく子 ・運動に励み体を鍛えることができる子 ・安全に行動することができる子	・基本的生活習慣 ・強い意志と実行力 ・生命尊重 ・気力 ・責任感 ・健康 ・安全

学 校 経 営 方 針	
1 教育目標の達成のため、教育課程の編成の工夫・改善を行い、全職員の共通理解のもと具現化に努める。	
2 確かな学力の向上 (1)キャリア教育の視点を踏まえた教育活動 (2)分かる授業の構築	
3 小中一貫教育の推進	
4 生徒指導の充実に努め、児童や保護者との信頼関係を築く。	
5 道徳教育、特別活動、環境教育等の充実に努める。	
6 保健指導と食育	
7 安全教育、防災教育の充実	
8 情報教育の充実	
9 特別支援教育の充実	
10 家庭・地域・関係機関との連携を深め地域の人材活用を図る。	

本 年 度 の 重 点 目 標 と 努 力 点	
1 学年・学級経営の充実 (1) 学校教育目標をふまえ、学年、学級、児童一人一人の目標を具現化しその実現に向け指導の手だてを工夫する (2) 職員会議、学年会、教科・教科外部会、校内研修会等の意義と役割に添った積極的な推進を図る	
2 学習指導要領の趣旨に即した教育活動 ◎ キャリア教育の視点を踏まえた教育課程の編成 ○ 「基礎的・汎用的能力」の視点を位置づけた、教科、道徳、総合的な学習の時間、特別活動等の見直し、実践に努める (1) 年間計画、評価計画で学習の時間のねらいを明確にし、週案を活用し指導と評価の一体化を図る (2) 「わかる授業」に努め学習指導の充実に図る。 ① 到達度テスト等の結果を活用し指導の重点化を図る。 ② 少人数、習熟度別、学年 TT、学習支援ボランティアの活用を積極的に行う。 ③ 1時間1時間「めあて」をはっきりさせ、学びの足跡を残す授業に取り組む	
3 小中一貫教育を念頭に校内研究・研修の充実に努める ① 学習規律の一本化を図り、中学校への繋ぎを明確にする。 ② 統一テーマ「思考力・判断力・表現力を育てるノート指導の工夫」 ③ 家庭学習の定着を図るため、宿題の出し方の学年・学級の統一を目指す ④ 学力向上推進、校内研究、小中一貫教育の授業に関わる内容では連携を図る	
4 生徒指導の充実に図る (1) 児童理解に努め、家庭との連携を密にして基本的生活習慣の形成。特に「あいさつ」「遅刻」「忘れ物」に視点をおく。 (2) 学校課題を明確にし、全職員の共通理解のもと全校体制で生徒指導に当たり校内ケース会議の充実に図る。 (3) 教育相談活動の組織的継続的な実践で児童理解に努める。	
5 道徳教育、特別活動、環境教育の充実 (1) 道徳の時間の確保と心のノートの活用、道徳的实践力の育成 (2) 特別活動の実践を通した、学校、学年、学級の充実 (3) 身近な環境に目を向け、自らの問題として捉えさせるようにする。環境教育の3つの視点を踏まえた全体計画の作成。 ※「環境に親しむ」「環境のしくみ」「環境を保全・創造する」	
6 保健室の機能を教育活動全体に生かし健康教育の推進を図る (1) 健康課題について、組織的に取り組む体制を整える (2) 栄養職員と連携し、食育年間指導計画作成、食育指導の授業実践を推進する	
7 安全・防災教育の充実に努め「学校安全計画」「危機管理マニュアル」の作成をする (1) 避難訓練や校内研修を通して教職員の資質の向上を図る (2) 月1回の安全点検と対応の充実 (3) 危機管理体制の見直し	
8 情報活用能力の育成と情報モラル指導の充実 (1) 情報モラル教育の年間指導計画への位置づけ (2) 指導カリキュラムを作成し、発達段階に応じた系統的、継続的な指導に努める。	
9 特別支援教育コーディネーターを中心に校内委員会の充実に図る (1) 障害の状態に即した教育課程を編成し個別の指導計画作成とその活用。 (2) 特別支援学級の「知的学級」「情緒学級」「難聴学級」「通級教室」と協力学級とその学年の効果的な連携を図る	
10 家庭・地域との連携を図り、家庭学習の習慣化、基本的な生活習慣の確立をめざす (1) 学校便り、保健便り、図書館便り、学年便り等の発行を活用し、基本的な生活習慣の確立をめざす (2) 学習支援ボランティアを教科や総合的な学習の時間、特別活動等で活用し充実に努める (3) 学校教育と部活動の相乗効果を狙い指導者との連携を図る	

那覇市立神原小学校

【実 践 事 項】

①学校教育目標、経営方針等を踏まえ自己申告書の作成
②実態把握と学年・学級経営案の作成
③校務分掌に対する積極的な取組と課題改善の対応策の視点をもつ

①教科等の年間学習指導計画にキャリア教育の視点を踏まえ見直し、授業改善を行う
②「働く」ことを通した活動の充実
③教科等の指導と評価の工夫
※週案作成による教材研究
④児童の実態把握とそれを生かした指導体制の確立
⑤少人数指導、習熟の程度に応じた指導の工夫改善

◎3部会の活動の充実
①学習を支える「学習規律」の徹底
②各教科のノート指導の充実
③「宿題」「がんばりノート」の共通実践
④小・中を見通した総合的な学習の共通理解と実践
⑥全員授業公開と3校合同の研修会参加

①「遅刻0」「進んであいさつ」「忘れ物をしない」を目指す具体的取組
②教育相談週間の実施
③中学校と連動した「みそあじ指導」
④心の教育相談員、教育センター等各機関との連携
⑤定期的な「いじめアンケート」実施

①「心のノート」「守禮」の活用
②各学年に応じた話し合い活動の充実
③クラブ活動の充実
④3つの視点を踏まえ実践的な取り組みの充実

①健康に関する資料提供と具体的実践
②自らの健康についての指導（予防）
③栄養職員と連携した授業実施

①安全マップの活用（登下校路の確認）
②避難訓練の充実（年2回）
③月1回の安全点検の充実
遊具等の定期点検の充実

①情報に関する校内研修の実施
②年間指導計画の作成

①特別支援教育校内研修会実施
②校内支援体制の確立と活性化
③「個別的教育支援計画」「個別の指導計画」の作成、活用
④支援学級と協力学級の連携

①各便りの発行
②地域安全マップの効果的な活用
③人材バンクの作成と活用
④部活動指導者との連絡会開催